

高瀬川だより

NPO法人京都高瀬川繁栄会報
編集人 田村佐起三

〒六〇四一八〇〇一
京都市中京区木屋町通三条上ル
電話 (〇七五) 二二五三・〇七〇七

弊NPOは「憲法を改正、経済力と軍事力の両方で健全な国体を支える国家」を求めます。

『揺れる情(こころ)』通信⑫

稲荷山武田病院院長 土屋 登之 京都医療センター緩和ケア創設者

2011年東日本大震災の時にはボランティアやD・MAT(災害派遣医療チーム)、自衛隊の方々、福島原発を守った人々、外国からの救援隊の人々、被災しながらも助け合って生き続けている人々の間に情(こころ)が溢れていました。

日本人の情(こころ)には『万葉集』『土佐日記』そして『古今和歌集』を経て千四百年の間、「もののあはれ」が存続し続けているのです。

緩和ケア病棟入院中のCさんは心の安心は横へ広がり、魂の平安は上から降りてくると言っています。子供さん、お孫さんがたくさんおられます。たくさん家族の情(こころ)に囲まれて安心し、ご先祖の魂に守られていると喜んでおられます。Cさんは自分の死を見つめながら尊厳性を保っておられるわけです。

京都国立近代美術館

6月11日～8月18日

《倉俣史朗のデザインー記憶のなかの小宇宙》

倉俣史朗(1934-1991)は没後30年以上を経た今なおデザインの領域にとどまらない高い評価を受け、影響を与え続けているデザイナーです。主に家具とインテリアを中心に時に同時代の美術の影響を受けながら展開されたその仕事はデザインや社会の状況への問いかけも含みながら今もなお人々を魅了しています。

倉俣史朗の名を冠した展覧会としては約十年ぶりの開催となります。デザイナーとして独立する以前の二十代の頃の仕事を紹介する資料から五十六歳で突然世を去るまでにデザインした家具やインテリアを《ミス・ブランチ》など当館所蔵の椅子7脚も織り交ぜながら時代順に辿ります。また晩年の彼が残した夢日記やイメージスケッチ、傍らに置いた蔵書やレコードそして自身の言葉を通して、その内面や思考の背景など「倉俣史朗その人」を伝えることも試みます。

《インターネット販売の裏側》常楽臺住職 今小路覚真

インターネットによる物品販売が、日常のこととして定着しつつあるように見えます。携帯やパソコンの画面と、記されている評価を基準として品物を手に入れます。

定価の何分の一という考えられないような安価で販売し、しかもそれなりの利益をあげている会社がテレビで報じられました。

インターネット販売で出る返品を、種類を問わず一品200円で、一回に一万点をまとめ買いすることで、そうした商売が成り立つということなのです。

まずインターネット販売でそれほどの返品があるという事実が驚きました。さらにその安売り会社は、対面販売で利益を得ていること、インターネットで売れない品が、対面だと売れるということなのです。

仏教界では時流に遅れまい、と懸命に模索しています。しかしこのテレビ番組から教えられたのは、時流の表面に安易に乗るばかりでなく、物事の根本を忘れてはだめだということなのです。

《チーズの発祥》

イタシヨク 福村直

西欧料理に欠かせないチーズですが、起源は古代文明エジプト・メソポタミアと言われており、遊牧民が羊の胃袋の水筒に入れた山羊の乳をラクダの背に積んで旅をし、夕方その乳を飲むとしたところ、中から出てきたのは透明な水と白い固まりでした。この白い固まりこそがチーズとなります。

この話を科学的に説明すると、羊の胃袋に含まれていた酵素が乳を固め、砂漠の熱い太陽とラクダの歩く振動によって脱水され、チーズの固まりができたのです。この原理は今のチーズ製造の基本となっています。その後ギリシア、そして古代ローマにチーズが渡り、チーズ文化はヨーロッパで洗練されたと言えます。このルートはワインにも同じことが言え、今を支えるヨーロッパの食文化はオリエンタが起源となるものが多くあります。

健康レシピ

栄養士 國松美也子

《六月 この時期旬のアジでお料理!》

6月は梅雨の時期を迎え、ジメジメしてきます。そのため、体がだるく感じたり体調を崩しやすい時期でもあります。体に入った湿気(つまり湿邪)を上手にさばける体づくりも、この時期には大切です。それには、発汗作用や利尿作用のある食材を摂って「湿邪」を体外に排出することが大事。発汗を促すには、生姜や香味野菜(パクチー、シソ、ネギなど)、香辛料(唐辛子・カレー粉など)など。梅雨を乗り切り本格的な夏に備えていきましょう!

- アジのなめろう(4人分)
- ①アジ1尾(三枚おろしにし、中骨、皮を除く)を1センチ角ぐらいに細かくする。
 - ②すり鉢に、みじん切り生姜大さじ1、みじん切り白ネギ1/2、みょうがスライス1本分、こうじ味噌大さじ2、ごま油小さじ1を全部入れて混ぜ合わせる。
 - ③②のすり鉢にアジを入れて混ぜ合わせる。
- *お好みで最後に大葉細切りを飾る。

《大原流声明雑話⑮》

實光院住職 天納玄雄

声明ではどんな内容の曲を唱えているのかと聞かれることがある。常の読経を聞いていても、一般的には何を唱えているのか聞き取り難いのに、声明は複雑な節回しに加わるから、なおのことである。

声明はインド語の梵語讃、中国語の漢語讃、日本語の和讃に分類される。和讃には七五調の詩歌に節を付けた訓伽陀や教化、説法に節を付けて法要に仕立てた講式、檀信徒向けの御詠歌などが含まれる。

となえる詞章は釈尊が説いた教典そのものや、インドの呪文である真言、仏菩薩を讃える詩歌、祖師先徳の著述など多岐にわたる。

数え切れないほど多くの声明曲が、各宗派に伝わっているが、法要の時はその主旨に即して決まった声明曲を唱えているのである。